

05年タコ

単位：数量，1000トン、価格，円/kg

年	漁獲	産地	輸出入	消費地	消費地生(千)	消費支出(千)	在庫	産地	輸出入	消費地	消費支出(円)	モロッコ	モーリタニア	タニ	スペイン	ベトナム	中国
16	55	6.2	53.3	25.2	867	21.2	350	646	858	1429	5.2	14.5	4.2	3.4	1.8	5.9	13.1
17	55	6.6	55.5	19.5	915	22.8	371	620	820	1490	8.7	19.5	3.9	3.0	2.3	5.6	9.9
%	100	107	104	77	106	108	106	96	96	104	167	134	93	88	129	96	75

輸 入 の 動 向

17年の輸入量は、5.6万トンで2年ぶりに前年の5.3万トンをやや上回った。これはサハラ沖漁場での操業により、モーリタニアからの輸入の増加を反映したものである。

本年の西アフリカでの漁は、モロッコでの半年以上の休漁と漁獲量規制、サイズ規制の中、依然生産自体の大きな伸びはみられていない。

本年の西アフリカ夏ダコトロール漁は、17年4月13日から17年7月15日まで休漁、7月16日解禁となったが、大・中型主体に推移、陸凍ツボタコ漁も7月25日解禁、大型主体で推移したが何れも低調な漁であった。

モロッコの冬ダコ漁は9～12月(昨年9～12月)の休漁で本年も12月15日解禁となり4月12日まで操業した。また11月1日解禁のモーリタニア(9,10月休漁)含めて(スペイン船も含む)低調であった。

サイズアソートはモーリタニアでは冬漁が1月6,7番主体、2月4,5,6番であった。ツボは大型の3～6番主体であった。モロッコの冬漁は小型規制もあり3,4,5,6番サイズ主体、夏漁も6番主体であった。

市況は、長期休漁措置、漁獲減枠の設定(TACの設定)、サイズ規制等も続いているが、高値疲れや、国内マーケットの縮小もあり、輸入価格、消費地価格とも一転下げ傾向に向かっている。

大型サイズは依然EUを始めとした競合も多く、夏ダコは本年も多少の買い疲れがみられたもののEU向けに多く買われている。

輸入国は、昨年に続いてモーリタニアが35%で前年(27%)を上回り、モロッコも16%(前年10%)と前年を上回った。中国が18%(前年25%)と少なかったとはいえモロッコを上回った。また近年台頭著しかった、ベトナム、タイもやや少なくなり、本年は中国を含めてアジア各国からの減少が目立った。

輸入価格は、620円と前年(646円)をやや下回った。

また本年も、マダコ、ミスダコ、ヤナギタコ、イワダコ等、国内外のタコ類の供給があり国内側需要の変化に対応し、多様化している。

在 庫 量

本年の平均在庫量は、2.3万トンと輸入物の若干の増加と国内生産の増加を反映し、前年(2.1万トン)をやや上回ったが、依然水準としては低かった。

越年在庫は2.4万トンで前年(2万トン)を上回っており、マーケットの本格的な回復が遅れていることを表している。

本年の在庫アソートは依然品質の悪い大型が残っているのが特徴。

消費地入荷量と価格

17年の消費地入荷量（10大都市）は、2万トンで引続き前年（2.5万トン）を下回っており、特に大消費地市場での取り扱いの減少が目立っている。

本年もまだ末端での特売は少ないが、在庫も徐々に増えてきており、年明け後は特売も徐々にではあるがみられ始めており18年には若干の期待も持てそう。

家庭消費支出は、量的、金額とも価格の下落を受けて若干増えているのが顕著。

価格は、820円で前年（858円）をやや下回り、やや高値疲れの様相がみられた。